

[参考資料 A]

スキーマ一覧、テーブル一覧の ASP 環境設定について

ASPRDA-SV/TCP を使用して、スキーマ一覧、テーブル一覧が表示されない問合せが多く、その対処方法を説明します。

1. 概要

以下の組み合わせでは、スキーマ一覧、テーブル一覧の情報は、システム情報表で管理されるようになっています。

■ASP E94,E95+RDA リクエスト 32 ビット版(V3 プロトコル)

※ E94 U96111 以降、E95 U96101 以降が必要。

■ASP E96 以降+RDA リクエスト

DBEAM の「表選択」を実行した際に表示されるスキーマ一覧には、所有するスキーマのみが表示されます。したがって DBEAM の利用者 ID で指定したプロフィールの所有するスキーマがないと、スキーマ一覧が表示されません。

(1)ログインしたユーザ ID "XPROF1" の機密保護グループ名 "XSYSOPR"に該当するスキーマ名"DB1"をシステム情報表のスキーマ一覧から取り出し、パソコンに通知します。

(2)スキーマ "DB1"に該当するテーブル名"TBL1,TBL2,TBL3"をシステム情報表のテーブル一覧から取り出し、パソコンに通知します。

2. 環境設定と運用

前項"1.概要"を踏まえて、以下のように設定および運用してください。

[環境の確認]

(1) E94,E95 の場合、E94 U96111 以降、E95 U96101 以降が実施されているか確認する。

(2) 利用するスキーマ(ライブラリ) の所有者を DSPLBAUT コマンドで確認する。

(3) 確認した所有者 (機密保護グループ名) のグループに属するユーザ ID (プロフィール名) をパソコンからログインするユーザ ID に決める。

[システム情報表の作成／設定]

CTLSYST コマンドで”何をしますか？”の1?4を実施する。

(1) "1.システム情報表の作成"を実施する

装置名は、RDM 辞書が作成されているディスク装置を指定。

(2) "2.情報の設定・削除"を実行する。

利用するスキーマを"0.追加"または"1.置換え"で設定する。

(3) "3.システム情報表の活性化"を実行する。

(4) "自動反映プロシジャの開始"を実行する。

[RDA-SA/TCP 起動]

(1)STRRDAT コマンドで RDA-SV/TCP を起動する。

[運用] パソコンと連携する。

3. スキーマ一覧、テーブル一覧が表示されないときの原因と処置

"前項 1. 概要"、"前項 2. 環境設定と運用"を踏まえて、以下のように対処してください。

・ "指定されたスキーマ名(INFORMATION_SCHEMA...又は FJ_ODBC_SYSTAB...)が存在しません"のエラーになる。

原因 : "システム情報表の作成／設定が行われていません。"

処置 : "システム情報表の作成／設定を実施する。"

・ スキーマ一覧、テーブル一覧に何も表示されない。

原因 : システム情報表にスキーマがないか、ユーザ I D の機密保護グループ名に該当するスキーマがない。

処置 : "環境の確認"および"システム情報表の作成／設定"を実施する。

・ 項目一覧が正しく表示されない。

原因 : E94 U96111 以降、E95 U96101 以降が実施されていない。または、E94 U96111 以降、E95 U96101 以降の実施後に、システム情報表を再作成／設定されていない。

処置 : システム情報表を削除し、"環境の確認"および"システム情報表の作成／設定"を実施する。 ※E94 U96111 以降、E95 U96101 以降を実施後に行うこと。